

アンケート調査票

資料 4

※この用紙に直接ご回答ください。

(あてはまる番号に○をつけてください。)

あなたご自身のことについて、お答えください。

問1 あなたの年齢をお答えください。

- 1 20代 2 30代 3 40代 4 50代
5 60代 6 70以上

問2 あなたの性別をお答えください。

- 1 男性 2 女性

問3 あなたがお住まいの地区をお答えください。

- 1 第一 2 第二 3 第三 4 第四 5 第五 6 芹田
7 古牧 8 三輪 9 吉田 10 古里 11 柳原 12 浅川
13 大豆島 14 朝陽 15 若槻 16 長沼 17 安茂里 18 小田切
19 芋井 20 篠ノ井 21 松代 22 若穂 23 川中島 24 更北
25 七二会 26 信更 27 豊野 28 戸隠 29 鬼無里 30 大岡
31 信州新町 32 中条

※わからない方はお住まいの町名をご記入ください。(長野市 _____)

問4 あなたの家族構成をお答えください。あなたと同居しているご家族すべてに○を付けてください。(続柄は、あなたから見たものとして。)

- 1 配偶者 2 子(中学生以下) 3 子(高校生以上) 4 父母
5 祖父母 6 孫(中学生以下) 7 孫(高校生以上) 8 兄弟姉妹
9 なし(一人暮らし) 10 その他(_____)

問5 あなたが日ごろ最も多く利用する交通手段を1つお答えください。

- 1 電車 2 バス 3 タクシー 4 自家用車
5 バイク・原動機付き自転車 6 自転車 7 徒歩
8 その他(_____)

公共施設について、お答えください。

問6 あなたは、過去1年間に市の公共施設をどの程度利用されましたか。施設の種類ごとに、利用回数が近いものを選んで、表の中の当てはまる番号に○をつけてください。また、「3」（利用しなかった）に○をつけた施設については、その理由を下の【利用しなかった理由】の中から1つ選び、当てはまる番号を記入してください。

施設の種類	1年間の利用状況			3の理由 (下の理由欄から1つ選んで番号を記入してください)
	月1回から数回利用した	年1回から数回利用した	利用しなかった	
1 行政窓口サービス施設 (本庁舎、支所等)	1	2	3	
2 生涯学習・文化施設 (図書館、博物館、学習センター等)	1	2	3	
3 コミュニティー施設 (公民館、集会所等)	1	2	3	
4 体育施設 (体育館、総合運動場、プール等)	1	2	3	
5 福祉施設 (高齢者、障がい者福祉施設等)	1	2	3	
6 子育て支援施設 (保育所、児童館、児童センター等)	1	2	3	
7 観光・レジャー施設 (温泉保養・宿泊施設、スキー場・キャンプ場等)	1	2	3	

【利用しなかった理由】



- 1 行くまでの交通が不便
- 2 希望時間に利用できない
- 3 施設や利用方法を知らない
- 4 同種の民間施設を利用している
- 5 利用の必要がない
- 6 その他

問7 平成24年12月に発生した中央自動車道・笹子トンネルの天井板崩落事故に象徴されるように、昭和40～50年代の高度経済成長期に整備された社会インフラ（道路や橋など）や公共施設が老朽化し、全国的な社会問題となっています。
長野市の公共施設も同様に、老朽化が進んでいることをご存知でしたか。

- 1 知っていた 2 知らなかった

問8 長野市は、将来の人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化に対応するため、できるかぎり今までのサービスを維持しながら、施設の適正な配置と規模への見直しを行っていく必要があると考えています。この考え方についてどう思われますか。

- 1 賛成である 2 どちらかといえば賛成である
3 どちらかといえば反対である 4 反対である

問9 「問8」で「1 賛成である」または「2 どちらかといえば賛成である」とお答えになった方は、どのような施設から優先的に見直しを実施すべきと思われますか。あなたの考えに最も近いものを2つ選んでください。「その他」の場合は自由に記載してください。

- 1 利用者が少ない施設や社会的役割が終わった施設
- 2 一部の個人・団体にしか使われない施設
- 3 建物や設備が老朽化し、維持管理や建替えなどのコストがかかる施設
- 4 他の公共施設と役割や機能（使われ方）が重複している施設
- 5 民間事業者でもサービスの提供が可能である施設
- 6 市の人口や面積が同規模である他の都市と比べて、保有量が多い施設
- 7 その他

[]

問10「問8」で「3どちらかといえば反対である」または「4反対である」とお答えになった方は、その理由をお聴かせください。

[]

問11 長野市は今後、人口減少や少子高齢化が進んでいく時代の変化に対応し、効果的、効率的に公共施設の量を縮小していく一つの方法として、施設の複合化・多機能化※に取り組んでいこうと考えています。

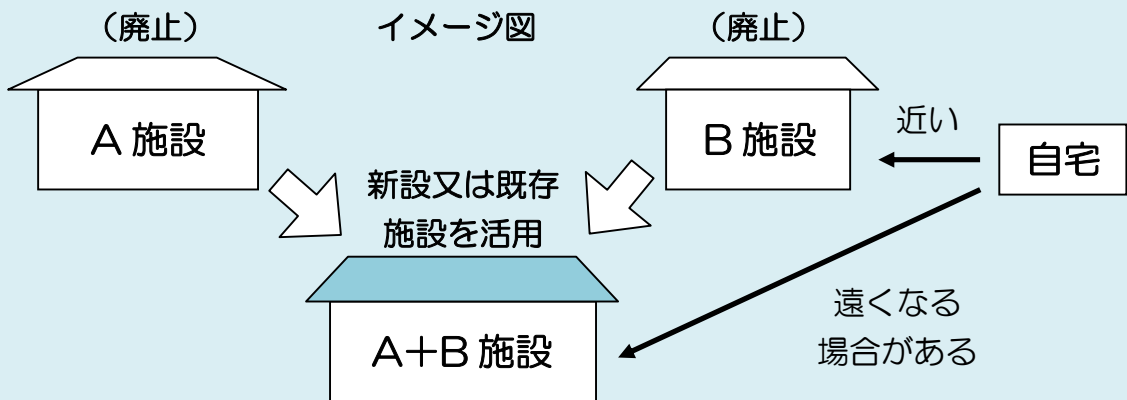
施設の複合化・多機能化を進めていくと、サービスを受ける場所が、現在ある施設の場所から遠くなることも考えられます。

このことについてどう思われますか。

※施設の複合化・多機能化とは

いくつかの行政サービスを1つの施設に集約したり、1つの施設でいろいろな利用方法を展開することで、利用者の利便性を高める施設とするものです。

複合化は、ホール、階段、廊下などを共有することにより、施設の維持管理にかかる経費を抑える効果があり、多機能化は、子どもから高齢者までの多世代が利用することにより、世代間の交流なども期待されます。



- 1 多少、距離が遠くなったとしても、賛成である
- 2 バスなど公共交通による移動手段が確保できれば、賛成である
- 3 移動手段が確保できたとしても、反対である
- 4 その他

[]

問12 長野市は今後、生産年齢人口※の減少による市税収入の減が見込まれるなど、財政状況がより厳しくなっていく一方で、公共施設の老朽化によって、改修や建替えのための費用が増加していくと予測されます。
このため、今まで無料であった施設の使用料を有料にするなど、使用料を見直すことも考えられます。施設の使用料の見直しについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

※生産年齢人口とは、年齢別人口のうち労働力の中核をなす15歳以上65歳未満の人口層

- 1 現在の公共施設をそのまま維持するためには、利用者の負担が増えるのは仕方がない
- 2 利用者の負担を増やす前に、施設の集約を進めるなど、まず、公共施設全体にかかる費用を減少させるべきである
- 3 公共施設は現状のままで、ほかの行政サービスを見直してでも、利用者の負担は増やすべきではない
- 4 利用者負担や税金を増やさなければ維持できない施設は、なくなってしまっても仕方がない
- 5 その他 []

問13 長野市は今後、財政状況がより厳しくなっていく一方で、公共施設の維持管理、改修や建替え費用が増加していくと予測されることから、行政だけで対応していくことは相当な困難が予想されます。
そのため、民間の資金やノウハウ（技術・知識）の活用など、公共施設サービスの提供に民間活力の導入を積極的に進めていきたいと考えていますが、このことについてどう思われますか。

- 1 民間にできることは、民間へ任すべきであり、賛成である
- 2 施設サービスの水準が維持できれば、基本的には賛成である
- 3 施設サービスの水準が維持できたとしても、民間にまかせることには不安があるため、どちらかといえば反対である
- 4 行政が責任を持って取組むべきことであり、反対である
- 5 その他 []

問14 長野市は、1998年（平成10年）2月にオリンピック・パラリンピック冬季競技大会を開催し、大会会場であった大規模なオリンピック施設※は、現在も市が多く費用※をかけて維持管理を行っています。

このオリンピック施設も、いずれは老朽化による大規模改修や更新（建替え）の時期を迎えることとなりますが、オリンピック施設の将来について、どのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

※オリンピック施設とは

（H24年度利用者数）（所在地）

■エムウェーブ（多目的アリーナ・冬季スケート場）	約38万人	北長池
■ビッグハット（多目的アリーナ）	約40万人	若里
■長野オリンピックスタジアム（野球場）	約10万人	篠ノ井
■ホワイトリング（体育館）	約17万人	真島
■アクアウィング（プール）	約11万人	吉田
■スパイラル（ボブスレー・リュージュ競技施設）	約0.5万人	中曽根

※オリンピック施設の維持管理にかかる費用の年額（平成24年度）

オリンピック施設全体では約10億円となっていますが、施設利用者からの使用料（約4億円）と国からの補助金（約2億円）を差し引くと、市の負担額は、年間約4億円となります。

- 1 冬季オリンピック・パラリンピック開催の記念であり、施設の維持管理に多くの費用がかかっても、全ての施設をできる限り存続させていく
- 2 施設の維持管理に多くの費用がかかるのであれば、他の一般施設と同じく、利用状況などに応じて、施設ごとに見直しを行っていく
- 3 まずは、各種スポーツ大会やイベント会場として積極的に活用するなど、施設の利用を増やす努力を行い、その結果を見て施設の見直しを行っていく
- 4 その他

[]

問15 長野市が公共施設マネジメント※を進めていくにあたり、特に期待することは何ですか。あなたの考えに近いものを2つ選んでください。

※公共施設マネジメントとは、将来の人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化に対応するため、公共施設のあるべき姿を検討し、公共施設の「量」と「質」を見直す取組です。

- 1 公共施設の複合化・多機能化により、施設の保有量を減らすこと
- 2 新たな施設は建設せずに、民間などで同様のサービスを行っている場合は、それらの施設を利用し、連携していくこと
- 3 計画的な改修を行って、施設の長寿命化を図り、施設の建替えや維持管理にかかる費用を減らすこと
- 4 施設の管理運営や改修・建替えやに民間のアイデアを募ったり、民間資金を活用するなど民間活力を導入すること
- 5 使用料などの利用者負担の適正化を図ること
- 6 その他 []

問16 長野市は今後、公共施設の統廃合や複合化・多機能化など、公共施設マネジメントの取り組みについて、市民の皆様へ説明会などを実施していく予定ですが、ご関心はありますか。

- 1 関心があるので、都合がつけば、参加したい
- 2 関心はあるが、参加まではしない
- 3 あまり関心がない

問17 長野市の公共施設マネジメントについて、ご意見がございましたらご記入ください。 ※記入欄が足りない場合は、裏面をお使いください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。